

平成19年度ガンカモ類の生息調査について

1 調査目的

ガンカモの生息調査は、ガン・カモ・ハクチョウ類の冬期の生息状況及び渡来傾向を把握することにより、湿地の保全や鳥獣保護区の指定等、野生生物保護行政に資することを目的として、毎年1月中旬、環境省の依頼により各都道府県が一斉に実施しています。

2 調査内容

ガン・カモ・ハクチョウ類について、渡来地に調査員を配し、種ごとに個体数調査を行っており、調査結果については、今後環境省により全国的な取りまとめが行われます。

3 調査区域

福島県内の区域

4 調査日

1月13日及び1月15日

5 調査者

各地方振興局職員、鳥獣保護員、日本野鳥の会会員等

6 調査結果

平成19年度は320箇所で開催し、その総数は74,373羽が確認された。平成18年度と比較してハクチョウ類はほぼ同年並みであったが、カモ類は減少した。この要因としては、本年度は湖沼等において一部凍結した箇所が多かったため、越冬箇所が分散したものと考えられる。

	平成19年度(暫定値)		平成18年度		増減数
ハクチョウ類	3種	8,580羽	3種	9,188羽	608羽
ガン類	1種	1羽	1種	1羽	±0
カモ類	21種	65,792羽	21種	79,896羽	14,104羽
合計	25種	74,373羽	25種	89,805羽	14,712羽

マガン(国レッドリスト：準絶滅危惧^{じゆんぜつめつきぐ}、レッドデータブック福島^{ふくしま}：希少)
トモエガモ(国レッドリスト：準絶滅危惧^{じゆんぜつめつきぐ}類、レッドデータブック福島^{ふくしま}：希少)
シノリガモ(レッドデータブック福島^{ふくしま}：希少)
などの希少鳥類も確認されています。

なお、調査結果は下をクリックしてください。

[主な調査地のデータ](#) (PDF ファイル形式 13KB)

[平成19年度確認数上位5位](#) (PDF ファイル形式 12KB)

[自然保護グループホームページへもどる](#)

[福島県ホームページへもどる](#)